

令和4年度 事業報告

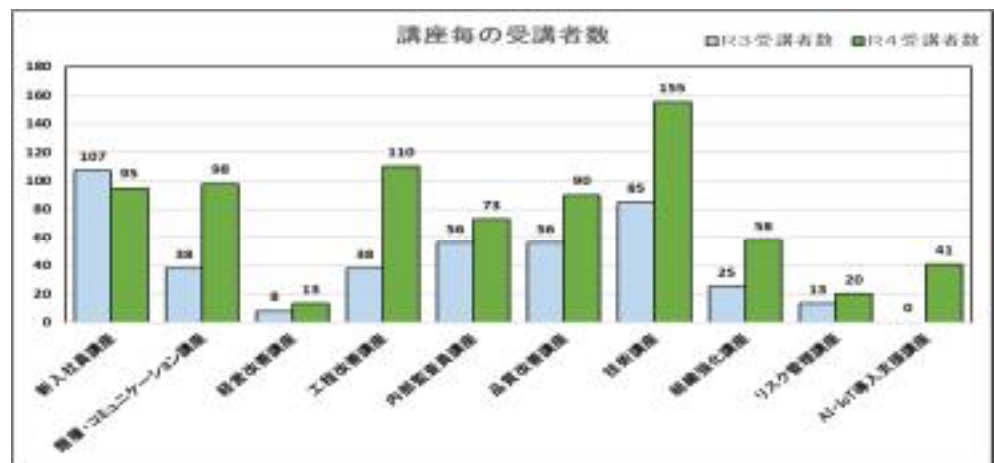
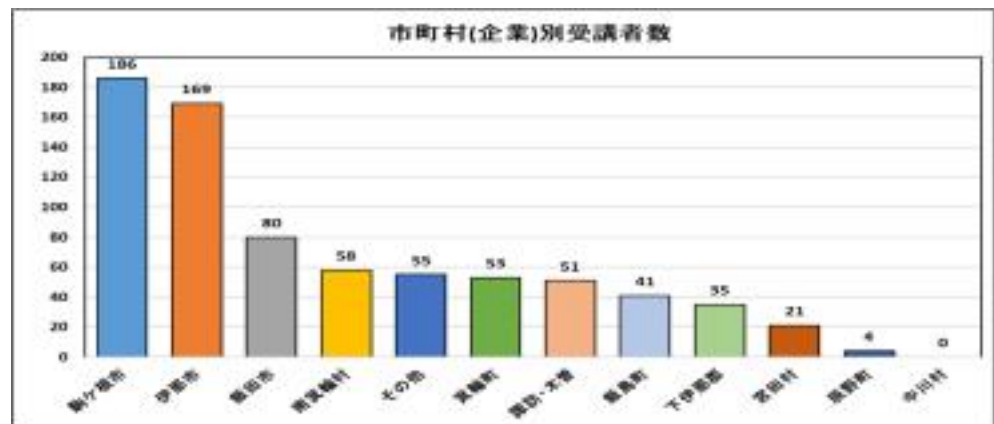
1. 上伊那地域経済牽引事業促進協議会

コロナ禍の影響で、当財団に関わる活動内容はあります。

2. 人材育成事業

一部令和4年度長野県地域発元気づくり支援金事業（GBOによるIoT活用と「産学官支」コミュニティ醸成事業）を活用し、企業人材のスキルアップのため経営改善、技術向上、品質改善、環境改善、コミュニケーション、人間性向上などをテーマとして実施しました。

- ①開催場所 伊那技術形成センター（研修室・メカトロ研究室）及び南信工科短大
- ②開催講座 35 講座に対して34 講座（1 講座は申し込みが少なく中止）を開催しました。受講者は、AI・IoT支援講座や技術講座を追加したこと、また新型コロナが落ち着いたことや受講希望の多い講座を複数回開催したことにより、前年度に比べて300 名ほど多い753 名となりました。
- ③その他 上伊那8市町村の後援をいただきました。22 講座を元気ビジネス応援隊（以下GBO）アドバイザーが講師を担当しました。
- ④実績まとめ 講座内容は、添付資料にあります。
参加企業の少ない自治体もあり、企業様のご要望を受けながらよりご活用いただける研修会を企画していきます。



※研修会風景



新戦力育成



ISO9001 内部監査員養成



はんだ付け実践技術



ハラスメント防止



なぜなぜ分析



5Sと現場改善

3. 元気ビジネス応援隊（GBO）事業(別冊1)

1) アドバイザー派遣による伴走型中小企業支援

依頼企業の個別課題に基づいて、経営、工程、品質、技術やIoT導入などの様々な改善と人材育成を目的にアドバイザーが支援を行いました。また、補助金申請支援も行いました。

①対応企業数 ・ 101社

伊那市	95社	箕輪町	2社
辰野町	1社	南箕輪村	3社

②支援方法

- ・中小企業トップ、担当者との相談やアドバイスによる支援。
- ・企業現場へ踏み込んでの中長期的な伴走型支援、社員教育。
- ・ホームページ、電話などを介しての対応など。

2) I o T活用と実践、長野県重点項目を見据えた人材育成研修

以下の講座においてGBOアドバイザーが講師を務めました。

・新人・コミュニケーション 4 講座、経営改善 4 講座、品質改善 4 講座、技術向上 7 講座、DX・IoT導入支援 1 講座、リスク管理 2 講座 計 22 講座

3) 上伊那支援コミュニティの構築

- ・経営支援全般の体系づくり、経営診断及びIT化支援メニューづくりを進めました。
- ・金融機関とのBig Advanceパートナー契約による活動を開始しました。

4) 伊那市のプロジェクト推進支援

①製造業等課題解決プロジェクトの運営（後述）
②露地野菜コンソーシアムのアスパラ自動収穫機の開発（後述）
③IoT導入人材育成講座共催（後述）

5) 環境出前授業

上伊那の小学校と連携し環境問題や新エネルギーなどをテーマに、アドバイザーが講師を務めました。

- ・実施校 辰野東小学校、東伊那小学校、南部小学校、箕輪中部小学校、七久保小学校、手良小学校、南箕輪小学校 計7校 376名受講



授業風景

6) 定例会の実施

GBO定例会、各プロジェクト定例会

7) 外部団体の交流や活動への参画

- ・上伊那管内市町村の部会や連絡会への参画
- ・南信工科短大、伊那商工会議所などの講義やセミナーへの参画

8) その他

- ・アドバイザーの活動管理 アドバイザー登録者数 現在44名
- ・GBO活動の広報やホームページの運用管理

URL <https://www.genkibiz.net/>

4. 南信工科短大振興会事業（受託事業 別冊2）

一部令和4年度長野県地域発元気づくり支援金事業（産業集積地域に学ぶ将来の理工系人財育成事業）も活用し、南信工科短大振興会事務局として、主に以下の活動を行いました。

1) 運営に関わる以下の業務

総会（コロナのため書面）、役員会、運営協議会の開催・参加、会計業務、新会員の獲得、情報や各種案内発信、ホームページ管理など

2) 主な事業

①技術講演会／講習会の開催

- ・VR講座、AI・IoT導入及び活用講座、meviy講習、公差設計講座（紹介編・実践編）、マナー研修など

②交流事業

- ・科学ふれあいフェア・デザインコンクールの実施やものづくり出前授業実施
- ・中学部活支援や企業／高校との交流会支援

③会員企業と南信工科短大との共同研究支援

- a. アスパラ自動収穫機開発(別冊)
- b. デジタルモールド粉末冶金技術(別紙)

- ④外部連携・高大連携
- ⑤南信工科短大や会員企業のPR
- 3) 卒業者交流支援
 - ・OB会発足の支援
- 4) 南信工科短大事業の支援
 - ①案内リーフレット、ビジュアル画像制作支援
 - ②学生募集、受験者増への取り組み支援
 - ③研究補助金支援
 - ④理系女子座談会への参画
 - ⑤南信工科短大振興会会員企業研究会への参加
 - ⑥会員企業見学会や学生成果発表会への支援
- 5. 製造業等課題解決プロジェクト運営（別冊3）

地域の製造業が抱える現場の課題を発見し、IoT導入による改善と補助金申請を支援しプロジェクトを運営しました。

 - ①実績概要
 - ・65社対象、15社支援、11社プロジェクト参加、8社補助金選考会参加
 - ②実行体制
 - ・上伊那産業振興会が事業受託、全体管理、GBO7名が実務推進
 - ・長野県ITコーディネータ、南信工科短大教員が技術サポート
- 6. 露地野菜コンソーシアム運営（別冊4）

伊那市の農業課題として、アスパラガスの自動収穫機の開発とアスパラ農場システムの改革に当たりました。

 - ①事業概要
 - ・アスパラガスの自動収穫機の試作と農場での運用実験
 - ・今年度までは基本システムの開発（次期3年間で実運用実現）。
 - ②実行体制
 - ・南信工科短大、企業、伊那市農林部、JA菜園、JA上伊那、長野県上伊那農業農村支援センター、NTCコンサルツ、上伊那産業振興会によるコンソーシアム
 - ・GBOが全体マネジメント、地域企業と南信工科短大教員による開発設計
- 7. IOT導入人材育成講座（別冊5）

課題解決プロジェクトとの連携も重視して、IoT導入を自ら推進し企業の経営改善に役立たせていける人材育成を目指し、地域の中小企業の社員対象に課題の解決/解決手法、実際のIoTツールの使い方、IoT導入によるデータの活かし方を学んでいただく研修会を開催しました。

 - ①事業概要
 - ・課題抽出と解決策検討研修会、IoTツール実習研修会、データ分析応用研修会の実施。
 - ②実行体制
 - ・南信工科短大教員及び学生、ITコーディネータ協議会に講師を担っていただいた。

8. 製造業共同研究プロジェクト支援（別冊6）

伊那市の共同研究プロジェクトによる南信工科短大学生の育成を支援しました。

①事業概要

- ・デジタルモールド粉末冶金技術による生産工程のDX化の研究

②実行体制

- ・ナバック／スワニーによる事業化検討、教員／学生による基礎研究
- ・上伊那産業振興会による経費、資金管理

③特記事項

- ・本件に関する中島先生の学会での発表が優秀講演論文として表彰された。

9. 交流促進事業について

外部活動と連携し以下の活動をしました。

1) 世界一の会事務局の支援

- ・会計事務及び交流会参加

2) 郷土愛プロジェクトとの連携

- ・全体会議、キャリア教育産学官交流会等各種事業への参加

3) 産学官交流事業（寄付金活用事業）の支援

- ・KOA寄付金活用による様々な地域貢献活動への資金支援

4) 伊那インター工業団地連絡会運営

①総会・地元区との懇談会 7月5日

②団地内一斉清掃 9月16日 18社 68名の参加



団地内清掃

③地区協力費徴収や各種情報の発信

④諏訪日本赤十字と協力して団地内での献血活動 2回（10/27、2/22）38名の協力

⑤伊那インター工業団地案内看板、企業看板の設置検討支援 臨時連絡会8月29日

⑥その他 新型コロナウイルス感染症の影響でレクリエーションは中止しました。

5) リニア新幹線開通に向けた活動の支援

- ・リニア関連の意見交換に参加
- ・伊那谷全体の協働テーマの検討

（リニア整備推進局、南信州地域振興局、飯田産業センターなどとの連携）

10. 情報提供事業について

①資料・書籍・工業製品展示

②ダイレクトメール、ホームページによる各種情報発信

URL <http://www.ina.janis.or.jp/~keisei/>

11. 伊那技術形成センターの運営管理事業について

1) 施設貸し出し実績（添付資料3ページ 「伊那技術形成センター利用状況」）

①利用件数 会議室67件 研修室103件 メカトロ研究室12件

②主な貸出先 伊那労働基準協会、アジマ自動車学校、イナリサーチ、長野県産業振興機構 等

2) 修理とメンテナンス

研修室 照明交換	7 千円
----------	------

消防設備修繕（煙感知器交換）	12 千円
----------------	-------

消防設備修繕（誘導灯交換）	128 千円
---------------	--------

交流サロンガラス扉修繕	11 千円
-------------	-------

合計	158 千円
----	--------

2. 令和4年度人材育成研修会講座実績

		講 座 名	開 催 日	受講時間	募集人員	実績人員	G O O 評価	補助金対象
1	新入社員講座	新戦力育成研修（第 1 回）	4月11日(月)・4月12日(火)	14	25	28	*	
		新戦力育成研修（第 2 回）	4月19日(火)・4月20日(水)	14	25	30	*	
2		フォローアップ研修（第 1 回）	10月4日(火)	7	25	24	*	
		フォローアップ研修（第 2 回）	10月14日(金)	7	25	13	*	
3	離層・コミュニケーション講座	接遇とビジネスマナー研修	5月13日(金)	7	25	22	*	
4		コミュニケーションとチームワーク研修	7月4日(月)	7	25	22	*	
5		若手社員研修	2月17日(金)	7	25	23		
6		女性社員研修	10月21日(金)	7	25	14		
7		中堅社員研修	9月12日(月)	7	25	17		
8	経営改善講座	財務会計／決算書研修	6月27日(月)・6月28日(火)	14	24	7	*	*
9		理念経営と部門別採算管理	10月27日(木)・10月28日(金)	11	24	6		*
10	工程改善講座	なぜなぜ分析研修	7月26日(火)	7	25	39		
11		5 S と現場研修	9月20日(火)・9月21日(水)	14	25	18	*	*
12		現場リーダーの役割と責任研修	10月25日(火)	6	25	37	*	*
13		次世代経営者育成研修	2月3日(金)	5	24	16	*	*
14	内部監査員講座	ISO9001内部監査員養成研修（第 1 回）	7月14日(木)・7月15日(金)	13	25	27		
		ISO9001内部監査員養成研修（第 2 回）	9月29日(木)・9月30日(金)	13	25	25		
		ISO/FSSC22000内部監査員養成研修	中止					
15		ISO14001内部監査員養成研修	8月1日(月)・8月2日(火)	13	25	21		
16	品質改善講座	品質管理の基礎研修	11月2日(水)	7	25	27	*	*
17		4 M 変更管理研修	11月14日(月)	7	25	22	*	*
18		ヒューマンエラー防止研修	11月29日(火)	7	25	41	*	*
19	技術講座	成形の品質研修	10月17日(月)・10月18日(火)	12	24	17	*	*
20		半田付け実践技術研修(初級)	6月3日(金)	6	15	7	*	*
21		半田付け実践技術研修(中級)	11月21日(月)	6	15	9	*	*
22		図面の基礎研修	12月1日(木)	7	25	55	*	*
23		プレス加工の基礎研修	9月9日(金)	7	25	6	*	*
24		設計者のための部品加工法基礎研修	1月12日(木)・1月13日(金)	12	25	25	*	*
25		安全意識を高める研修	5月24日(火)	7	25	17		
26	組織強化講座	ハラスメント防止研修	8月26日(金)	4	25	13	*	
27		新 5 S 思考術研修	12月6日(火)	7	25	28		*
28	リスク管理講座	防災のSDGs研修（企業活動と地域防災）	8月9日(火)	3	24	12	*	*
29		脱炭素社会の取組研修（ゼロ・ネットのSDGs）	9月2日(金)	5	24	8	*	*
30	AI・IoT導入支援講座	AI・IoTツール実習研修	10月18日(火)・11月8日(火) 11月15日(火)・11月22日(火)	12 or 16	12	19	（会場・産業工科大学）	*
31		DX 実現のための事業課題の抽出と解決策検討研修	10月13日(木)・10月27日(木)	8	16	12		*
32		データ分析応用研修	12月8日(木)	6	16	10		*
33	技術講座	公差設計と幾何公差による設計改革	1月31日(火)	12	20	17		*
34		公差設計の理論と活用	3月9日(木)・3月10日(金)	12	15	19		*
			計		853	753	22	22

3. 伊那形成技術センター年度別利用状況

年度区分	開館日数	主催 日数	共催 人	外部利用 日数	利用 人	利用 日数	総計 人	その他 来館者	利用総数 人	使用料金 収入 円
平成 3年度	111	38	938	13	589	51	1,527	257	1,784	65,470
平成 4年度	245	111	2,034	61	3,391	172	5,425	121	5,546	485,165
平成 5年度	245	107	1,349	60	3,237	167	4,586	238	4,824	358,940
平成 6年度	245	240	2,210	64	2,717	304	4,927	351	5,278	399,980
平成 7年度	246	303	2,473	71	2,534	374	5,007	553	5,560	452,280
平成 8年度	245	237	1,380	84	3,105	321	4,485	479	4,964	445,640
平成 9年度	245	204	1,527	83	3,524	287	5,051	386	5,437	530,140
平成10年度	245	228	1,487	102	4,626	330	6,113	376	6,489	601,770
平成11年度	244	201	1,673	108	3,865	309	5,538	241	5,779	732,450
平成12年度	245	150	1,359	99	3,880	249	5,239	248	5,487	748,880
平成13年度	242	139	1,535	98	3,309	237	4,844	270	5,114	745,700
平成14年度	245	102	1,501	69	2,787	171	4,288	256	4,544	485,300
平成15年度	247	78	1,063	104	3,740	182	4,803	312	5,115	1,801,699
平成16年度	246	105	1,390	101	3,302	206	4,692	317	5,009	1,263,394
平成17年度	242	79	1,187	109	4,501	188	5,688	305	5,993	885,666
平成18年度	256	89	1,262	89	3,500	178	4,762	339	5,101	635,600
平成19年度	251	85	1,045	148	5,822	233	6,867	364	7,231	1,047,220
平成20年度	249	70	1,167	167	6,255	237	7,422	337	7,759	1,021,480
平成21年度	244	75	1,283	143	7,103	218	8,386	959	9,835	1,268,313
平成22年度	245	73	1,224	132	5,789	205	7,013	251	7,264	937,125
平成23年度	247	65	1,142	131	6,639	196	7,781	303	8,084	961,532
平成24年度	244	85	1,455	92	4,847	177	6,302	350	6,652	725,900
平成25年度	248	59	1,083	136	5,835	195	6,918	286	7,204	952,250
平成26年度	251	61	998	154	6,220	215	7,218	414	7,632	1,054,260
平成27年度	253	43	797	149	6,087	192	6,884	407	7,291	1,322,320
平成28年度	260	43	706	141	5,518	184	6,224	295	6,519	1,029,100
平成29年度	253	63	1,188	100	5,490	163	6,678	419	7,097	1,117,360
平成30年度	259	51	1,172	112	5,240	163	6,412	255	6,667	1,075,860
令和01年度	259	60	1,112	95	4,314	155	5,426	208	5,634	1,011,650
令和02年度	242	55	829	91	2,641	146	3,470	133	3,603	1,015,810
令和03年度	242	75	1,069	144	3,402	219	4,471	261	4,732	1,227,200
令和04年度	241	85	881	130	4,272	215	5,153	197	5,350	1,271,050
合 計	7,782	3,459	41,519	3,380	138,081	6,839	179,600	10,488	190,578	27,676,504
平 均	243	108	1,297	106	4,315	214	5,613	328	5,956	864,891

